

プローブ情報活用WGについて

1. 目的

県内の自動車メーカーが保有するプローブ情報について、交通事故の防止、事故数減少に資する交通安全施設の設置等の交通安全対策への活用を検討する。

2. 構成員

トヨタ自動車(株)、県建設部道路維持課・産業労働部産業振興課、
県警本部交通部交通総務課・交通規制課

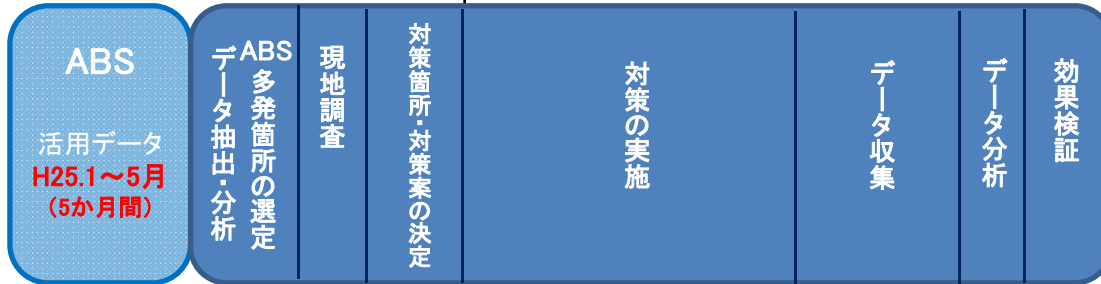
3. 検討事項

- 1) プローブ情報の交通安全対策への有効性の確認
- 2) プローブ情報の交通安全対策への活用
- 3) プローブ情報活用により実施した交通安全対策の効果検証 など

計 画

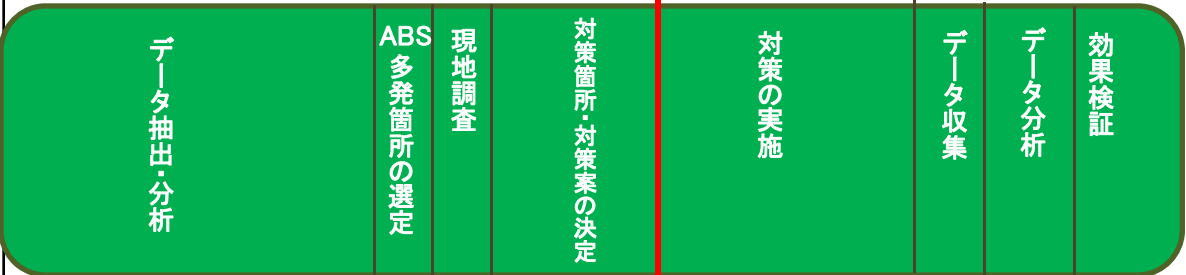
プローブ情報活用WGのスケジュール

年	平成25年度									平成26年度									平成27年度														
月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
WG開催	①②	③			④			⑤			①			②			③			④			①			②			○			○	
WGの主な検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・設置 ・プローブデータの検討(2) ・プローブデータの検討(1) 			<ul style="list-style-type: none"> ・ABSデータの活用を決定 (1~5月のデータ) 			<ul style="list-style-type: none"> ・通年のABSデータでの検証を決定 			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の進め方の決定 			<ul style="list-style-type: none"> ・新たなプローブデータ活用(↓見送り決定) 			<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査箇所・方法の決定 			<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の進め方の検討 ・効果検証・対策案等の決定 			<ul style="list-style-type: none"> ・新たなプローブデータ活用(↓見送り決定) ・新年度の進め方の決定 ・次年度以降の進め方の検討 											



【改善点】より精度の高いデータの抽出

- ・データ量の増(5か月→通年)
- ・減速度平均、速度差平均を加味



昨年度までの取組状況

(1) 5か月分のABSデータをもとにした対策実施箇所(4箇所)の効果検証(結果)

ア ABS作動の多い箇所で「事故の発生が予測される箇所(8箇所)」を抽出・現地調査をし、事故件数の少ない箇所、突発的な急ブレーキの要因の無い箇所を除いた4箇所について対策を実施。対策前後におけるABS作動回数、事故件数の増減を比較し、効果検証を行った。

イ 対策の効果検証の結果(まとめ)

- ◆ 対策実施箇所の中には、ABS発生件数が増加した箇所や減少が少なく依然として多く発生している箇所があるものの、未対策箇所との比較において、対策を実施することにより、ABS発生件数の減少につながることを期待できる。
- ◆ 事故減少への効果は、対策完了後からの検証期間が短く、事故件数が少ない(対策後の事故件数が増加した箇所もある)ため、判断が困難。



上記の結果を踏まえ

- ◆ より精度を高めたABSデータを活用し、対策箇所の拡大(4箇所⇒7箇所)、減速マークの新設などの交通安全対策内容を決定の上、平成27年度早期に対策を実施。
- ◆ 事故とABSの発生状況との関係のさらなる比較を進めるため、データ抽出方法の検討などにより、ABSデータの有効性を確認し、平成28年度以降の交通安全対策への活用是非を判断する。

取組状況の普及啓発

トヨタ自動車(株)において「プローブ情報活用WG」の取組を展示会で紹介しました。

①第6回ATTT(国際自動車通信技術展)

- ・場 所:東京ビックサイト
- ・日 時:2015年3月11日～13日
- ・来場者:30,056名(延べ人数)

②スマートコミュニティJapan2015

- ・場 所:東京ビックサイト
- ・日 程:2015年6月17日～19日
- ・来場者:40,606名



今年度の取組状況

- (1) 第1回会議を5月26日に、第2回会議を8月28日に開催。
- (2) 平成27年度の取組
 - ① 平成27年度対策実施箇所の対策の実施・効果検証
 - ② 平成26年度効果検証を行った箇所の継続検証
 - ③ ABSデータと事故との相関関係を検証
 - ④ ABS以外の有効な新データ可能性の検討

【平成27年度取組①】 対策の実施

対策箇所	具体的対策 (道):道路管理者、(交):交通管理者	対策	
		開始日	完了日
① (主) 豊田一色線 西尾市米津町	(道) 薄層舗装塗り直し、減速マークの設置、区画線の引き直し	7月21日	7月24日
	(交) 道路標示の更新(道路管理者と調整)		3月24日
② (主) 名古屋津島線 大治町八ツ屋	(道) 舗装の修繕、区画線(車線境界線等)の引き直し	4月27日	6月25日
	(交) 道路標示の更新(横断歩道、交差点)		3月24日
③ (主) 岡崎刈谷線 岡崎市渡町	(道) 取り付く市道(堤防道路)の明確化のため標識設置	6月30日	6月30日
	(道) 車線数減少の区画線(矢印)の設置	7月14日	7月14日
④ (主) 岡崎刈谷線 岡崎市城南町	(道) 区画線(車線境界線等)の引き直し、「右折車注意」の路面標示の設置	7月14日	7月14日・15日・31日
	(道) 舗装の修繕	5月20日	5月20日
⑤ (主) 名古屋豊田線 日進市浅田町	(道) 舗装の修繕(段差の解消)、区画線(減速マーク)の設置	4月17日	4月30日
	(交) 道路標示の新設 ※新道路共用開始後、交通流を見て必要性を判断	4月30日	4月30日
⑥ (主) 豊田知立線 東郷町諸輪	(交) 道路標示の引き直し	2月27日	3月4日
	(道) 車線減少の区画線(矢印)の引き直し、区画線(減速マーク)の設置		
⑦ (H27.4市道に移管) 小牧市上末	(交) 信号サイクル(前後交差点信号が変るタイミング)の調整		1月15日

【平成27年度取組③】 ABSデータと事故との相関関係を検証

◇ 建設部で対策を実施している事故危険箇所(130箇所)のABS作動状況を分析

○事故危険箇所130箇所のうち、ABS作動が年間5回以上あったのは23箇所

(参考)130箇所のABS年間作動状況内訳

0回:28箇所、1回:32箇所、2回:27箇所、3回:10箇所、4回:10箇所、5回以上23箇所

○ABS作動5回以上の箇所につき、ABS作動データを詳細に分析し、事故発生状況とABSの発生状況を分析し、相関関係を検証

【平成27年度取組④】 ABS以外の有効な新データ可能性の検討

◇ 「リンク平均速度」や「急減速情報」等、ABS以外のデータも活用した取組を検討。

○リンク平均速度(速度超過)や急減速情報・ABS等のデータを組み合わせて分析、事故危険箇所を推定。現地調査の上、交通事故低減・予防に向けた施策を検討する

・リンク平均速度: 一定の道路区間(リンク)を通過する車両から収集、計算したリンク毎の車速平均値

・急減速情報: 0.4G以上の急減速が発生した箇所

平成27年度 プローブ情報活用WG 全体スケジュール

	2015年度			
	4～6月	7～9月	10～12月	H28. 1～3月
会議	▲4/8、28 事前打合せ ↳ ▲5/26 第1回WG	▲9月8日 第6回PT △8月28日 第2回WG	△11月 第3回WG(仮)	▲3月 第7回PT △2月 第4回WG(仮)
取組① 対策の実施・ 効果検証 (H27)	 		 	
取組② 効果検証 (H26)				
取組③ ABSと事故と 関連の検証				
取組④ ABS以外の 有効な新データ 可能性検討				